



令和5年度を振り返って

理事長 吉田直己

あかね通信 276号の通り、令和5年度は重点目標として「理念の理解・浸透」「より働きやすい職場作り」「高齢化への対応」の3点に取り組みました。

(1)「理念の理解・浸透」 全職員対象に理念の勉強会を開きました。各々の職員自らの言葉で意見を発信し、理念を実現するには何が必要か、各自考えていただきました。グループに分けて意見交換も行き、職員が話し合っている姿は頼もしく心強いと感じました。

(2)「より働きやすい職場作り」 TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言の取得に向け、キャリアパスや環境整備を行い、取得する事ができました。



(3)「高齢化への対応」 第七・八さつき寮を開設し、高齢化したみのりの利用者の皆さんの利便性を高める事ができました。また将来、車椅子になっても送迎できるよう、車椅子対応リフト付きの送迎車を、日本財団より寄贈いただきました。障がい者が認知症になった時に対応できるよう、外部講師を迎えて研修を行いました。今後はより実践的な部分も含めて取り組んでいきたいと思っております。

お正月には能登半島地震がありました。災害はいつどこで起こるか分からず、他人事ではありません。お互い助け合える社会の実現の為に、今回微力ながらも、みのりの送迎に使用していた車を日本カーシェアリング協会へ寄付しました。今後も私達でもできる事は何か？を考え続けていきたいです。私達だけでなく、少しでも社会全体に笑顔があふれるようにと願った令和5年度でした。令和6年度も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

新入職員紹介



生活支援部
生活介護みのり 支援員
O Mさん
好きな食べ物：ラーメン
趣味：料理、映画鑑賞

★いつもみのりの利用者さんに積極的に声かけされています。明るく元気なキャラクターで周りを盛り上げてくれています。



生活支援部
第七さつき寮 世話人
I Yさん
好きな食べ物：魚全般
趣味：映画鑑賞

★誰に対しても優しく利用者の皆さんも安心して生活されています。以前は調理のお仕事をされていたこともあり、食事がとても美味しいと評判です。

各部だより

発達支援部

親子ダンスワークショップ開催！

練馬教室利用者の保護者藤田様は CAT-A-TAC (キャットアタック) というダンスユニットを主宰し、障がい者・高齢者・子供の為のワークショップを開催・指導されています。その藤田様から「文化庁の補助金によるワークショップにご協力いただけませんか？」とお話をいただき、「発達障がい児向け親子ダンスワークショップ」という内容に惹かれ、ご依頼をお受けしました。その後、あかねっこ教室(春日町、大泉、練馬)の利用者全員に募集をかけたところ、8組の親子が参加することとなりました。



Let's ダンス！

12月3日(日)豊玉第二小学校の体育館にてダンスワークショップが開催され、藤田様をはじめとするトレーナーの方々と一緒に創作ダンスを行い、障がいがある子ども達も保護者と共に最後まで楽しく取り組むことができました。最後はCAT-A-TACの魅力あふれるダンスをご披露いただきました。参加者からは、「親子で楽しいひと時を過ごすことができました」と感想をいただきました。